

# 被災地ボランティア活動報告セミナー

## 「東日本大震災から3か月～今、必要なこと、できること～」

日時： 平成 23 年 6 月 10 日（金） 18：00—20：00

場所： 名古屋大学国際開発研究科 8F 第 1 会議室

（一般公開、使用言語：日本語）

### 1. 「私たちにできること～「40人まとめて1日ボランティア」に参加して～」

桐田奈々 名古屋大学大学院国際開発研究科 M1 学生  
北見静英奈 名古屋大学大学院国際開発研究科 M1 学生

### 2. 「被災地の災害廃棄物処理に関する報告」

岡山朋子 名古屋大学大学院エコトピア科学研究所 特任講師

### 3. 「避難所の状況と保健活動～津波で行政機能が被災した町の復旧・復興への課題」

岡田亜弥 名古屋大学大学院国際開発研究科 教授

### 4. 「被災地における心のケアチームの活動」

西尾彰泰 名古屋大学大学院国際開発研究科 D1 学生/精神科医師



未曾有の災禍をもたらした東日本大震災から3か月が経とうとしています。被災地では、国内外の多くの人々・組織からの支援を得て、復旧・復興に向けた活動が進められていますが、未だ10万人を超える被災者が避難生活を送っており、復興への道筋も明確になっていません。メディアでは連日、被災地・被災者に関する多くの報道がなされていますが、未だ、明らかになっていないこと、報道されていないことも多くあります。

被災地では、多くのボランティアや各自治体・団体から派遣されたスタッフが支援活動にあたっていますが、復興には相当時間がかかることが見込まれることから、今後も継続的な支援が必要と思われます。皆さんの中にも「被災者・被災地のために何かできたら…」「自分にできることは何だろう?」「これから支援活動に参加したい!」と考えている方も多いと思います。

そこで、実際に被災地(宮城県・福島県)を訪れ、ささやかながら支援活動をしたGSIDの4名が、以上のように、活動報告会を開催し、被災地の状況やそれぞれの活動について報告するとともに、今、被災者が必要としていることは何か、私たちにできることは何か、について皆さんと考える機会をもてたらと考えています。

連絡先・問い合わせ： 岡田研究室（内線 4960； [aokada@gsid.nagoya-u.ac.jp](mailto:aokada@gsid.nagoya-u.ac.jp)）

